

## 新庁舎整備事業の進捗状況等について

従来の市庁舎は、耐震性能の不足、執務室の狭あい・分散化及びこれに伴う民間ビル賃料の負担、バリアフリー未対応等の課題を抱えていました。そのため、平成29年度に着工した新庁舎整備事業では、歴史的、文化的価値のある本庁舎は保存・活用しながらも、市民が安心・安全に暮らせるよう防災拠点として機能するとともに、全国モデルとなる環境に配慮した市庁舎、「おもてなし」の心を備えた市庁舎を目指し、分庁舎、西庁舎、本庁舎、北庁舎と一体的な整備を進め、令和6年度末の完了を見込んでいます。

この度、北庁舎の解体・新築工事に着手した令和3年9月以降に生じた事由、及び最終段階が近づいた新庁舎整備事業の状況について、御報告いたします。

### 1 これまでの取組状況

#### (1) これまでの主な経過

平成20年度	市庁舎整備懇談会設置
22年度	市庁舎整備懇談会からの提言受領(22年4月) 市庁舎整備の基本的な方向性として、「現在地で整備すること」及び「本庁舎は保存・活用すること」を公表(23年2月)
24年度	市庁舎整備基本構想(案)に対する市民意見募集の実施(25年2月) 市庁舎整備基本構想策定(25年3月)
25年度	市庁舎整備基本計画策定(26年3月)
27年度	基本設計の公表(27年7月)
28年度	実施設計の公表(28年9月) 分庁舎工事請負契約締結(29年3月)
29年度	分庁舎建設工事着工(29年4月) 本・西庁舎工事請負契約締結(29年5月) 本・西庁舎建設工事着工(29年6月)
30年度	西庁舎完成(31年3月末)
令和 元年度	分庁舎完成(元年5月末)
3年度	北庁舎建築工事請負契約締結(3年6月) 本庁舎完成(3年8月末) 北庁舎建設工事着工(3年9月) 北庁舎設備工事請負契約締結(4年3月)

## (2) これまでの主な変更事由

### ア 新庁舎整備事業スケジュール等の変更 (H30. 2. 5 総務消防委員会報告)

本庁舎改修工事において、「居ながら工事（業務を継続しながら施工）」に伴う騒音・振動等による来庁者及び業務等への影響が当初の見込み以上に大きく、やむを得ず開庁時間内の施工を限定し、時間外（夜間・休日）に分散するなどの回避策を取っていたが、工期及び経費への影響を最小限にするために居ながら工事を取り止めたため、北庁舎の完成時期の約10～11ヶ月間延長等及び約3億円の経費増の見込みとなった。

### イ 本庁舎改修工事における想定外地中障害物等の影響 (H31. 1. 21 総務消防委員会報告)

免震装置及び地下の工事を進める中で、想定外の地中障害物等の存在が新たに判明し、それらを適正に処理するため、約7～9ヶ月の工期延期等及び約9億円の経費増の見込みとなった。

### ウ 本庁舎改修工事における進捗状況等について (R3. 4. 23 総務消防委員会報告)

本庁舎改修工事を進めていく中で、既存の天井スラブ、天井、床、壁の劣化・損傷等、当初契約時には想定できなかった事象が多数判明し、補修等の対応が必要となったため、約4億円の経費増の見込みとなった。

## (3) 庁舎別の建設事業費

(単位：億円)

	現在の契約額	備考
分庁舎	104.7	令和元年5月末完成
本・西庁舎	158.9	西庁舎：平成31年3月末完成 本庁舎：令和3年8月末完成
北庁舎	107.1	令和6年度末完成予定
合計	370.7	

## 2 北庁舎解体・新築工事について

### (1) 工事概要等

北庁舎の解体・新築工事では、北庁舎の本体工事に加えて、北庁舎と分庁舎を結ぶ上空通路や北庁舎と本庁舎及び西庁舎を接続する工事及び本庁舎・西庁舎の免震装置と新北庁舎に設置する免震装置の一体化工事のほか、分庁舎4階（旧仮議場）の改修工事等、新庁舎整備事業の総仕上げとなる関連工事を行っている（別紙1「新北庁舎の概要について」）。

### (2) 進捗状況

令和3年9月から解体工事に着工し、令和4年4月末までに地上部分の解体工事が完了。現在は、地下部分の解体及び山留工事に着手したところであり、新築工事は、令和5年5月頃に着工見込み（別紙2「北庁舎工事の工事工程表」）。

### **(3) 令和3年9月の着工以降判明した事象及び対応**

#### **ア 新たに判明したアスベスト建材の適正処理【+約1億円】**

解体工事の進捗に伴い、契約当初には想定できなかったアスベスト建材が発見され、それらを適正に処理するための対応が必要となった。

#### **イ 分庁舎4階旧仮議場の執務室化【▲約0.4億円】**

6つに分かれた会議室として整備する予定であった旧仮議場を1つの執務室に変更したため、整備費が減少した。

なお、この場所に新北庁舎への移転を予定していた民間ビル入居所属を前倒しで移転させたことにより、民間ビル賃料を約0.5億円削減できる見込み。

#### **ウ 資材・労務単価の上昇に伴う増額【+約2.2億円】**

資材・労務単価の上昇に伴い、建築工事及び設備工事において、請負金額を増額する必要が生じた。

### **3 北庁舎の完成により取得又は充実する機能**

北庁舎の完成により、市庁舎整備基本計画において定めた市庁舎が備えるべき機能を備えた市庁舎が完成する。

#### **(1) 災害に強い構造を備えた市庁舎**

本庁舎、西庁舎及び北庁舎の三棟一体免震化を行うことにより、すべての庁舎で高い耐震性能を確保する。

#### **(2) 防災拠点施設として迅速に対応できる機能の強化**

北庁舎から別系統の高圧回線を引き込むことが可能となり、高圧2回線による本庁舎、西庁舎及び北庁舎における供給電源の多重化を実現するほか、上空通路を介して分庁舎の危機管理センターと本庁舎を接続することにより、災害時における行政機能の連携を強化する。

#### **(3) 効率的かつ効果的な行政サービスの提供及び質の高い行政運営**

ア 周辺民間ビルに入居している本庁機能を有する執務室を市庁舎に集約し、関連性が深い部署を近接配置することにより、執務効率及び市民の利便性を向上させ、周辺民間ビル賃料を削減する。

イ 議会スペースを本庁舎及び北庁舎の2階に集約・拡充させることにより、機能的な議会スペースを確保する。

#### **(4) 全庁舎におけるバリアフリー化の徹底**

上空通路により、市庁舎前広場や地下街と本庁舎、北庁舎から分庁舎に至る全庁舎のバリアフリー化を実現する。

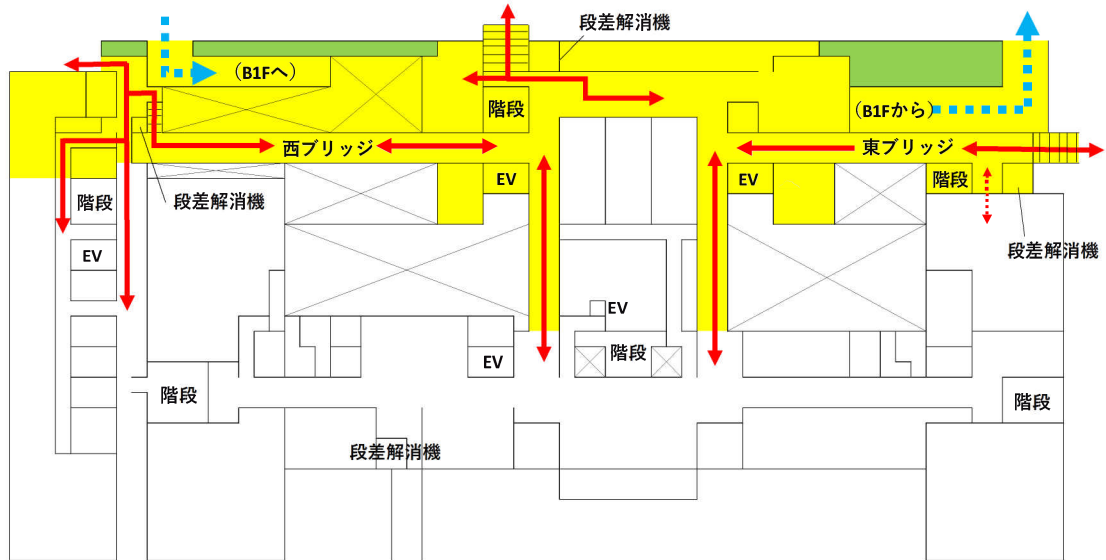
#### **(5) 環境配慮**

上空通路による分庁舎敷地からの熱エネルギーの融通や井水槽の設置による本庁舎、西庁舎及び北庁舎における井水の熱利用などにより、市庁舎全体のランニングコストの約4割削減を実現する。

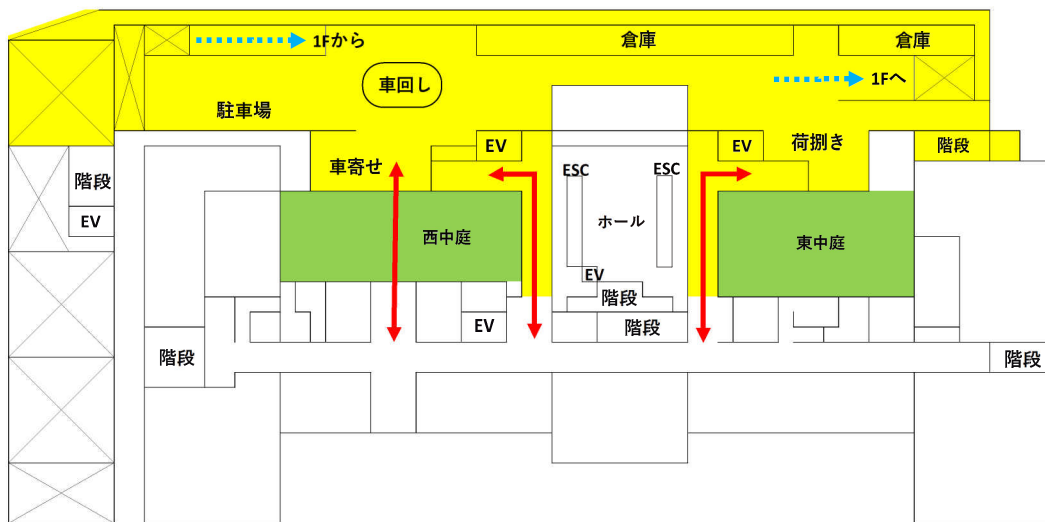
## 新北庁舎の概要について

新北庁舎は、「歴史と文化の継承のシンボル」である本庁舎に対して、「先進性のシンボル」として、太陽光発電や井水の熱利用等、環境に配慮した市庁舎になるとともに、全庁舎のバリアフリー化や庁舎間におけるエネルギーの共同利用等を行うため、既に完成している分庁舎、本庁舎及び西庁舎と相互に接続した市庁舎となります。

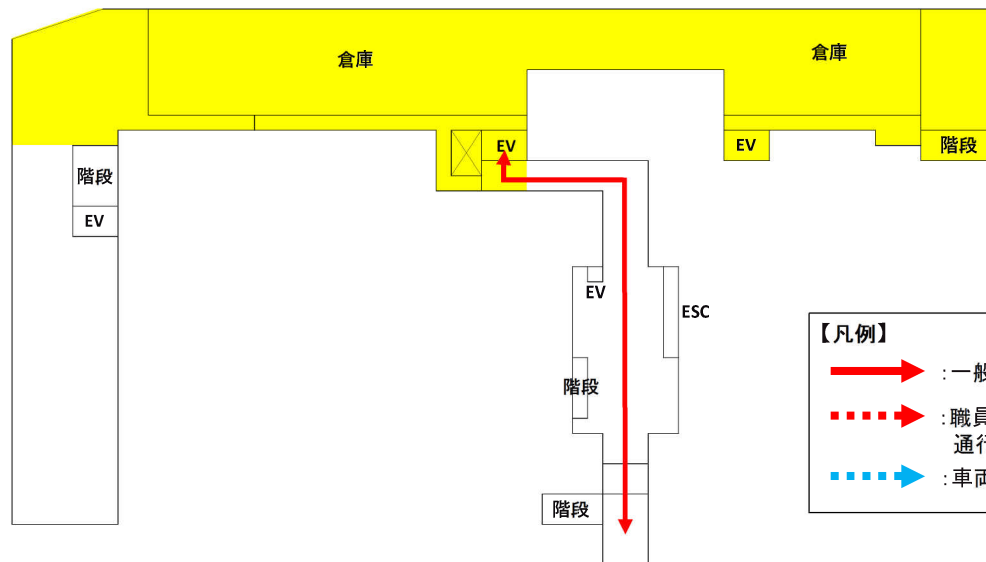
### 【1階】



### 【地下1階】

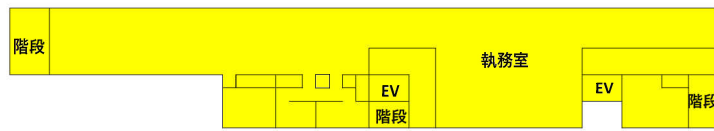


### 【地下2階】



- 【凡例】
- : 一般の通行可
  - ⋯→ : 職員等又は非常時の通行可
  - ⋯→ : 車両の通行可

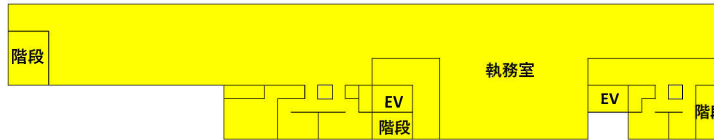
【7階】



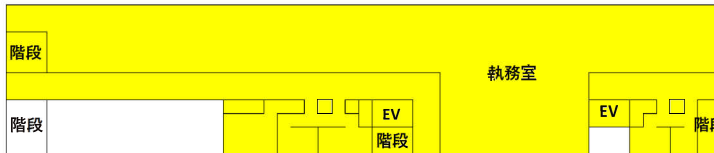
【凡例】

- : 一般の通行可
- : 職員等又は非常時の通行可

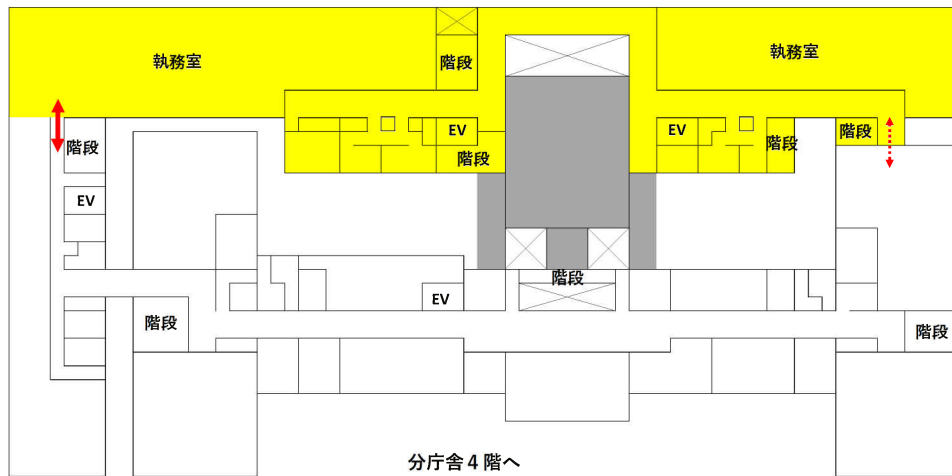
【6階】



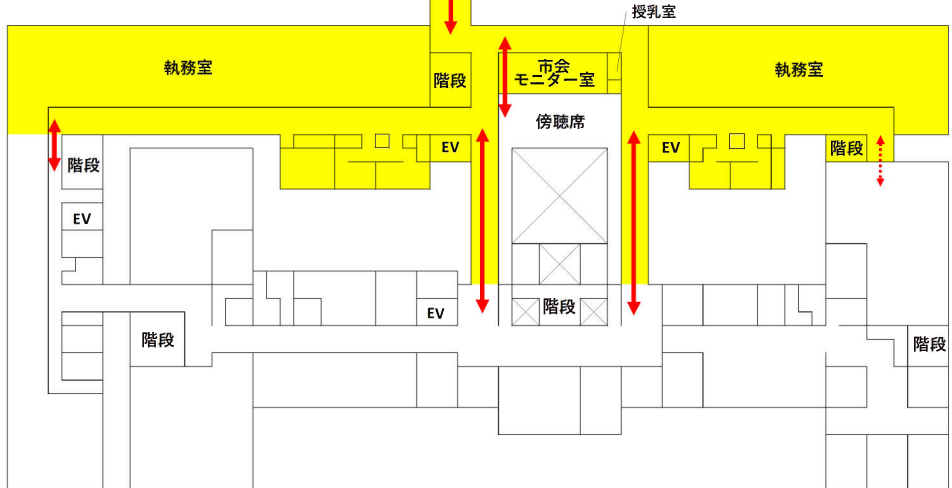
【5階】



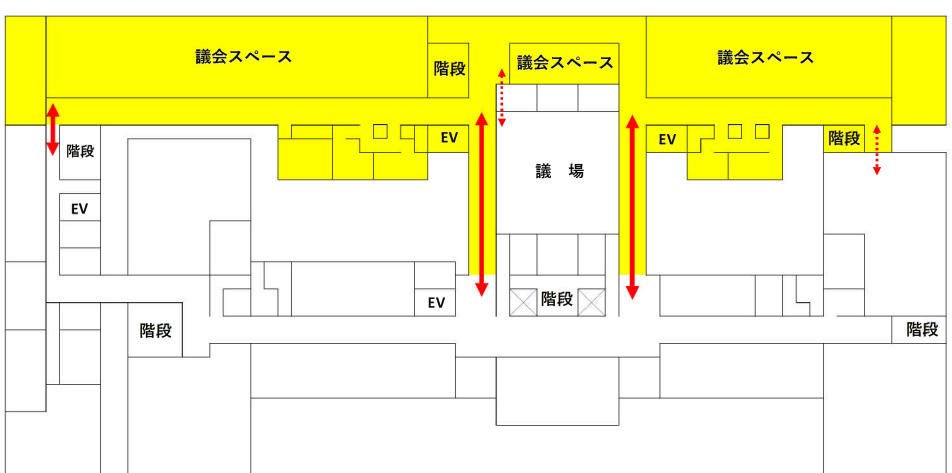
【4階】



【3階】



【2階】



北庁舎工事の工事工程表

令和4年8月時点

